

事業番号	05 06 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	後期高齢者医療支援事業	部局	健康福祉部	課・室	健康増進課国民健康保険室				
		実施期間	H20 ～	E-mail	kokuho@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	⑦健康寿命								
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実								

1 現状と課題

高齢化の進展や医療の高度化などにより、医療費の増大が見込まれることから、引き続き、後期高齢者医療制度の安定的運営を支援していく必要がある。

2 事業目的

高齢期における適切な医療を確保し、健康の保持と高齢者の福祉の増進を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①後期高齢者医療制度の安定的運営を支援

後期高齢者医療制度の安定的な運営のため、以下の法定経費を県が負担

- ・後期高齢者医療の保険給付費に対する負担（1/12 後期高齢者広域連合への補助）
- ・低所得者世帯の保険料を軽減する市町村への助成（3/4 市町村に対する補助）
- ・高額医療費の発生件数増加による財政リスク軽減（80万円超の医療費の1/4を負担。後期高齢者医療広域連合への補助）

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施取組市町村数	市町村	17	60	↗	65	↗	60以上	達成	後期高齢者の健康保持に関する取組の結果を評価する指標に適しているため、成果指標として設定し、目標値については毎年度向上を図るべきものであるため、前年度以上の値を設定。	
②	市町村保険料収納率	%	99.4	99.4	→	99.4	→	99.4以上	達成	後期高齢者医療制度の安定的な運営を評価する指標に適しているため、成果指標として設定し、目標値については毎年度向上を図るべきものであるため、前年度以上の値を設定。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計				
				(予算現額)	うち一般財源			
R4年度	0	28,588,059	269,725	28,857,784	28,853,216	28,857,029	2.0	
R3年度	0	28,550,136	△ 1,051,064	27,499,072	26,484,375	27,498,288	2.0	
R2年度	0	27,349,833	177,798	27,527,631	27,347,945	27,526,998	2.0	

事業番号	05 06 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	後期高齢者医療支援事業	部局	健康福祉部	課・室	健康増進課国民健康保険室

6 主な取組実績と成果

①後期高齢者医療制度の安定的運営を支援

13団体に対して技術的助言を実施。また以下の法的経費を県が負担

- ・後期高齢者医療の保険給付費に対する負担額（1/12 後期高齢者広域連合への補助）：22,794,092千円
- ・低所得者世帯の保険料を軽減する市町村への助成額（3/4 市町村に対する補助）：4,137,509千円
- ・高額医療費の発生件数増加による財政リスク軽減額（80万円超の医療費の1/4を負担。後期高齢者医療広域連合への補助）：1,920,547千円

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施取組市町村数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
後期高齢者医療広域連合を通じた市町村への取組推進や、助言実施時の指導等により取組市町村数は増加し、目標値を上回った。							
指標②	市町村保険料収納率	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
市町村助言において、目標の達成状況や収納率向上対策等の取組について聞き取りを行った上で助言を行ったことで、収納率を維持し、目標を達成したと考えられる。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・今後、高齢化の進展や医療の高度化などにより、医療費の増大が見込まれることから、引き続き、後期高齢者医療制度の安定的運営を支援していく必要がある。
- ・保健事業の実施状況や保険料収納率について市町村ごとにばらつきがあり、十分な取組ができていない可能性がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・高齢期における適切な医療を確保できるよう、療養の給付等に要する費用の一部を負担し、後期高齢者医療広域連合が行う医療費適正化の取組を支援していく。
- ・市町村・後期高齢者医療広域連合に対して、保健事業の実施状況や滞納者への対応等に関する技術的助言を行うことで、事務処理適正化を図るとともに、保健事業の充実や収納率向上の取組を支援していく。

事業番号	05 06 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	後期高齢者医療支援事業		部局	健康福祉部	課・室 健康増進課国民健康保険室

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	後期高齢者医療支援事業		27,526,998 千円	27,498,288 千円	28,857,029 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	後期高齢者医療事務市町村支援事業	直接	市町村及び後期高齢者医療広域連合への技術的助言、担当者研修、事業年報作成、障害認定審査事務などの経費 助言実施団体：13		
2	後期高齢者医療給付費県費負担金	負担金	後期高齢者医療広域連合が行う療養の給付等に要する費用の一部を負担（負担率：県1/12） 後期高齢者医療の保険給付費に対する負担額：22,794,092千円		
3	後期高齢者医療基盤安定事業負担金	負担金	低所得者や被用者保険の被扶養者であった者等の保険料軽減に要する費用の一部を負担（負担率：県3/4） 低所得者世帯の保険料を軽減する市町村への助成額：4,137,509千円		
4	後期高齢者医療高額医療費負担金	負担金	後期高齢者医療広域連合が負担する高額医療費（レセプト1件当たり80万円を超える額）について、一部を負担（負担率：県1/4） 高額医療費の発生件数増加による財政リスク軽減額：1,920,547千円		
5	後期高齢者医療財政安定化基金運営事業	直接	後期高齢者医療広域連合の財政安定化のため県に設置されている基金の、資金運用による利子積立 基金運用益：4,568千円		